

佐世保市立江迎中学校

令和5年度「特色ある学校づくり対策事業」

豊かな心で地域コミュニティの発展に
協力できる生徒の育成

本校の概要

所在地	佐世保市江迎町乱橋584番地
校長	諸藤 智一
生徒数	127名
学級数	8（特別支援学級4）

江迎中学校は佐世保市の北部に位置し、学校の立地する江迎町には旧平戸街道沿いに発達した歴史の古い商家や名刹が存在している。同町は旧産炭地であり、かつては江迎地区や猪調地区などを中心に賑わいを見せていたが、炭鉱閉山後は人口も減少し、平成22年には佐世保市と合併した。しかし、地域の人々は町政時代を忘れることなく、独立心をもって文化活動や教育に意欲的に取り組んでいる。江迎中学校もそのような地域に支えられ、期待される存在として、日々教育活動に邁進している。

また、今年（令和38年）は旧江迎中学校と旧猪調中学校が統合して60年を迎えた。9月1日には学校、保護者、地域の方々と共に「統合60周年記念式典」を開催している。

さらに、令和4年度より猪調小学校、江迎小学校とともに、コミュニティ・スクールとして新しい取組も行っている。

生徒の実態と事業の目的

本校の生徒たちは素直で明るく、しっかりとした挨拶ができる。また、地域行事等にも積極的に参加し、地域愛もある。しかし、進路や将来の夢に対する意識を高めたり、自主性、向上心をさらに身につけさせたりしなければならないといった課題もある。そのため本校では、「特色ある学校づくり対策事業」をとおして、地域に貢献できる人材の育成と併せて、外部人材の活用や地域交流を進め、生徒たちの進路意識や自主性を高めることで、生徒たちが自らの進路を切り開く意欲・能力を育成することとした。

実践内容・成果

1 家庭や地域との連携・ボランティア活動

(1) 情報発信の多角化

① 学校だより・学校HP

年間60号の学校便りを発刊し、各家庭や地域に配付した。また学校HPには、時間割や部活動予定、「今日の出来事」のコーナーで学校の出来事や行事等の案内を行った。

② 安心メール

緊急時の連絡や積雪・豪雨などの対応を全家庭に一斉メール（江迎中安心メール）を配信した。家庭に迅速な連絡を行うことができた。

(2) 地域連携

① 地域人材の活用

a 伝統演舞（乱舞龍）

（5月・体育大会、8月・江迎千灯籠まつり、9月・統合60周年記念式典）

江迎地区在住の講師を招聘し、地区の伝統演舞である「乱舞龍」を指導していただいた。振り付けは生徒自身が考え、体育大会及び江迎千灯籠まつりで披露した。今年度は統合60周年記念式典でも披露し、伝統の継承や生徒の地域愛の育む機会となった。



b 保健体育・武道（弓道）（11月・第3学年）

江迎弓道会の方に、第3学年の保健体育の授業に外部講師として来ていただき、8時間の授業内で講義・実技を実施した。生徒たちは興味をもって参加し、弓道に関する知見を深めた。また、地域の方を招いたことで地元の方々への感謝の気持ちを育んだ。



c 職場体験学習（9月 第2学年）

地元の福祉施設や企業で生徒たちが活動した。どの事業所からも生徒たちの学習態度の良さをお褒めいただき、子どもたちも将来に対する目的意識を高めることができた。



② ボランティア活動（10月 全学年）

普段の学校生活や教育活動で使用している学校近辺・江迎町内の清掃及びごみ拾いを実施した。町内を見回すと、多くのごみがあり、十数袋ものごみを収集した。分別等の作業も積極的にいき、奉仕の気持ちや感謝の心を養うことができた。

③ 統合60周年記念式典

今年、統合60周年を迎えたことから、保護者や地域の方々を招き、記念式典を開催した。生徒は乱舞龍を披露、地域から餅を寄付していただき餅まきをするなど、式典とアトラクションを実施し、改めて地域愛を感じる機会となった。



2 外部人材を活用した豊かな心と社会性、キャリア意識の向上

① スクールカウンセラー講演会（7月・第1学年）

本校勤務のスクールカウンセラーを講師として招き、「心の健康」と題して、思春期に起こる心の変化やストレスとの向き合い方など講演していただいた。生徒の感想からは、ストレスの対処法等を学べたことで、実生活につなげようとする感想が多く見られ、改めて「心」についての理解を深めることができた。



② AED講習会（7月・第2学年）

地域にある佐世保西消防署・江迎鹿町出張所の所員、消防署員の方々に来ていただき、心肺蘇生法とAEDの使い方について実技を中心に教えていただいた。「心肺蘇生が必要な状況になったときは、学習したことを思い出して命を救いたい。」など、命を救うために行動したいという気持ちを育成することができた。



③ 薬物乱用防止教室（7月・第3学年）

薬物の危険性や有害性、違法性などについて正しい知識を得、薬物を拒絶するための強い意志を育むことを目的に、薬物乱用防止教室を実施した。江迎警察署生活安全係から講師を招き、薬物使用者に対する対応の経験や法的な側面など、興味深く有意義な講義をしていただいた。



④ メディア安全講演会（9月・全学年）

メディア安全指導員を講師として招き、インターネットに潜む危険性やスマートフォンの適切な使用方法について講演いただいた。特に中高生の間で問題となっている、インターネットによる誹謗中傷や個人情報の流出などを題材として、ネット利用の落とし穴やその怖さを、具体的に分かりやすく講義していただいた。具体的な安全策やメディアの危険から身を守る自己防衛についての理解が深まった。



⑤ 家庭教育講座（11月 全学年・保護者・地域）

市教育委員会の家庭教育講座を活用し、日本眠活眠育協会理事 眠活眠育アドバイザーを講師として招き、睡眠の大切さや睡眠の質について講演いただいた。生徒が自分自身の生活習慣を見直し、今後よりよい生活を送るため、健全な成長につなげるためには睡眠が大切であることを再認識できた。



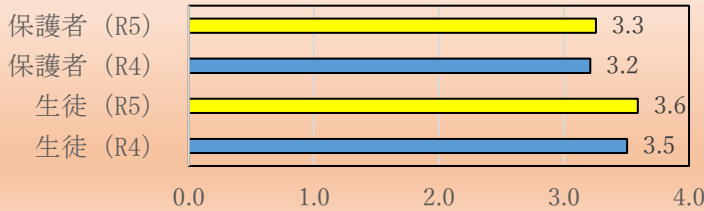
⑥ 性教育講演会（令和4年11月・第3学年）

心身の発育・発達や性に関する知識の理解を深めるために、国際ソロプチミスト佐世保パールから講師を招き、講演会を実施した。男女間に限らず、お互いの気持ちを尊重し合える関係を築くことや、デートDVや性暴力について知り、早期発見につなげること等を講話していただいた。性について知識を深めるとともに異性に対する認識を再確認できた。

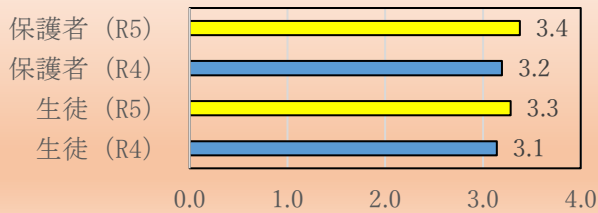


(成果と課題)

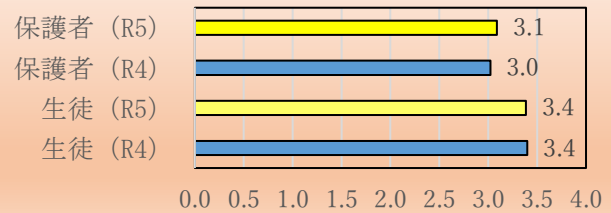
学校は、家庭への連絡や意思疎通、また、通信やHPなどによる情報提供を確実にしている。



学校は、PTAや地域、関係団体・機関との連携をとっている。



学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。



令和5年度学校アンケートによると、「学校は、家庭への連絡、進路の情報提供などをきちんと行っている。」(情報発信)と答えた生徒・保護者は多く、様々な方法で情報を提供したことは効果があった。今後、計画的かつ頻繁に情報発信を行い、保護者との連携や地域との交流などを積極的に進め、生徒の進路意識を向上させていく必要がある。

また、「学校は、PTAや地域、関係団体・機関との連携をとっている。」(地域連携)についても、肯定的な回答が増え、学校が地域の核となるよう今後も継続して連携を深めていくことが必要である。

さらに、「人権教育が推進されている」と答えた生徒の割合が高いことから、多くの外部講師の講演や地域の方々との触れ合いをとおして、豊かな心の醸成につながったものと推察できる。今後も学校教育活動全体をとおして、更には本校の特色を生かしながら、地域に貢献できる人材の育成を推進していかなければならない。

来年度に向けて

学校評価の結果、数項目で若干の数値の低下が見られた。特に、生徒の学力や家庭学習、生活について保護者は危機感をもっている。学力向上は来年度、学校経営の大きな柱として設定し、子どもの主体的な学びにつながる取組を実践していかなければならない。また、生徒の主体的な活動として、生徒会活動を活発化させ、受動的ではなく能動的に活動する生徒を育成する必要がある。楽しく学校に登校している生徒の割合が高いだけに、今より一步先へ進めるよう鍛え、予測不可能な社会を生き抜く力となる学力や生活習慣を身に付けさせていく。そのためにも、地域コミュニティを生かしつつ、学校、家庭、地域と連携して子どもを育成していく必要がある。

なお、外部講師による講演会は、子どもにとって大変大きな刺激となっている。このような取組は継続していくとともに、今後は家庭や地域の方にも参加していただき、話題を共有していきたい。